



## 「未来をリードする経営者の資質12項目」と内容の説明

1. **情報を公開し、公正な経営に率先して取り組む勇氣**
  - ・ ホームページ、環境レポートなどにより自社の環境への取組を公開すると同時に、社内報などで社員にも共有
2. **100年先を見通した中長期的な企業価値を設定し、その価値を浸透させる情熱と達成する戦略性**
  - ・ 「100年先」にこだわらないが、経営者の目線を出来るだけ遠くに置き、自社の価値を顧客、社員、社会一般にも問いかける情熱を持ち、それを経営戦略にも活かしていこうとする意志を持っている
3. **国内外の時代の潮流を洞察し、先取りする力**
  - ・ 気候変動問題、プラスチック問題や生物多様性の喪失など、世界が取り組む環境問題に常に関心を持ち、事業に取り入れようとしている
4. **他社とも協働して、社会に対する責任を果たそうとする意志**
  - ・ 同業に限らず、他社とも協働し、日本社会の課題(雇用、男女格差の是正、子育てなど)に協働して取り組んでいる
5. **地域社会との交流を大切にし、その伝統や文化を尊重する意思**
  - ・ 自社が立地する地域社会での交流(商工会議所の活動、祭り、清掃、伝統行事など)に社員とともに取り組み、盛り上げている
6. **経済と環境を一体化しようとする意志**
  - ・ 省エネ、省資源、再生利用、植林・育成などの環境活動をすることが、同時に、自社の経費削減や利益の増進にもつながる経営を目指している
7. **働くことの価値を認め、自社で働く全ての人々の働く意欲を高める力**
  - ・ 正社員、非正規、アルバイトを問わず、自社で働くすべての人に働く意味を問いかけると同時に、社員自らも、その意義を理解できるような環境を整備している
8. **事業を大きくしすぎない勇氣**
  - ・ 高度経済成長期の経営者のように自社の規模拡大を重視、追求するのではなく、自社の実力(需要、資金、社員、環境制約など)を賢明に判断し、適正規模を常に考え、それに見合った経営を行っている

## 9. 科学を理解し、経営に活かす力

- ・ 自社の事業活動に関わる環境情報も含めた科学的な情報についても、アンテナを高くして積極的に取り入れ、経営に活かそうとしている

## 10. 技術やサービスの動向を常に把握し、経営の発展に繋げる力

- ・ あらゆるものが激変している現在の経営環境にあつて、足元のみならず、明日の自社経営を支える技術やサービスの動向を、新聞、雑誌、インターネット情報のほか、国内外の展示会等に経営者自ら、または社員が足を運び、経営に活かす努力をしている

## 11. 人知の及ばない大いなるものへの畏敬の念

- ・ 経営者といえども、自分の力の及ばないもの(病気、不慮の事故、自然災害、国際環境の変化など)に影響を受ける。保険などの備えはしていても、それを遥かに上回る災厄に見舞われることはあり得る。逆に、思わぬ幸運に恵まれることもあり、それは人知では予見し得ないものであることから、人力を過信することなく、謙虚な経営を心掛けている

## 12. NPO を含む全てのステークホルダーとコミュニケーションをとる力

- ・ 現在の経営では、情報公開や説明責任が不可欠となっている。その際、これまでのように従業員や所管の役所だけでなく、地域住民や関心を有する NPO 等を含め、あらゆる関係者(ステイクホルダー)と率直かつ積極的に話し合える(コミュニケーションする)力量を持ち活かす努力をしている